



株式会社大興 標準仕様

大興標準仕様は耐震等級3【相当】を取得

「万一」も「毎日」にも備えた安全・安心な住まいづくり

大興は、見えないところにこだわり抜きました



耐震等級って？



この建物は地震に強い。あるいは建築基準法の耐震性からの余裕度はこの程度ある。といわれてもなかなかピン！ときませんね。そのため品確法では、建築主の方が耐震性を判断する目安として3段階の耐震等級が表示されるようになりました。等級1が現行の建築基準法と同じで、そして等級2、等級3となるほど建物の耐震性は高くなります。

耐震等級の目安

等級1	数百年に一度発生する地震（東京では震度6強から震度7程度）の地震力に対して倒壊、崩壊せず、数十年に一度発生する地震（東京では震度5強程度）の地震力に対して損傷しない程度。（建築基準法同等）	軽い屋根 15 29
等級2	上記の地震力の1.25倍の地震力に対抗できる	軽い屋根 18 45
等級3	上記の地震力の1.5倍の地震力に対抗できる	軽い屋根 22 54

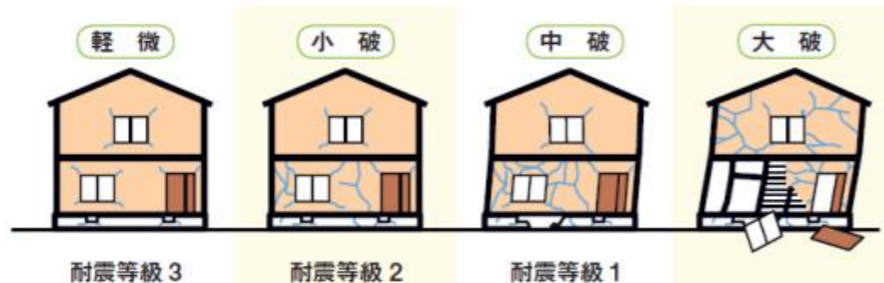
耐震等級の説明の文言は、かなり抽象的ですが、品確法では、（図中右）それぞれの等級に対して必要な地震係数が決められております。耐震等級2、3は、この係数が大きく、耐震性が上がります。

等級3イメージ

大興標準仕様は、全棟耐震等級3【相当】を取得しております。



【図1】耐震等級による大地震時の被害程度の違いのイメージ



一般の戸建住宅の耐震基準。建築基準法の基準

学校、病院などの耐震基準

消防署や警察署など、防災の拠点となる建物の基準

耐震等級1: 阪神・淡路大震災相当の地震でも倒壊しない程度

耐震等級2: 阪神・淡路大震災相当の地震の1.25倍の力の地震でも倒壊しない程度

耐震等級3: 阪神・淡路大震災相当の地震の1.5倍の力の地震でも倒壊しない程度

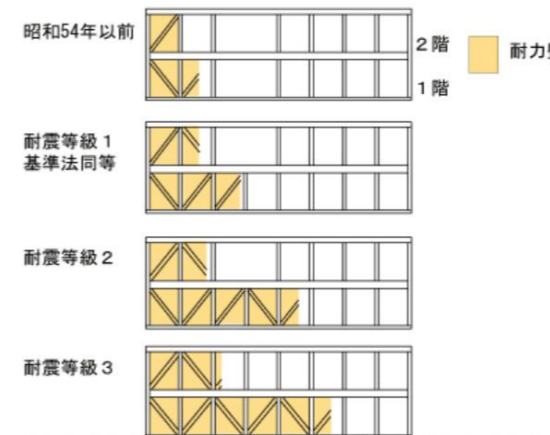
より安心です

このような建物が耐震等級3基準です。図左の消防署や警察署など防災の拠点になる建物が耐震等級3となります。

耐震等級3で施工すると



耐震等級の目安



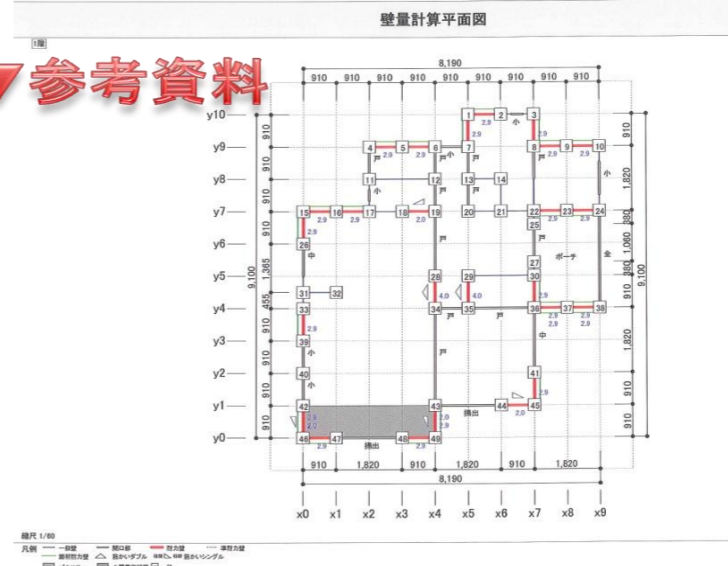
耐震等級を単に1.25倍や1.5倍と言ってもわかりにくいので、これを木造軸組工法で多用される筋交で施工する耐力壁を例に図左に表現してみました。等級1と比べると1階部分の耐力壁の量が大きく変化し安定性を持たせているのが良く分かります。大興標準仕様は、この壁量の計算を実施耐震等級3【相当】を取得し施工しております

耐震等級3【相当】の証し



「構造の安定」（構造躯体の倒壊等防止）の項目は地震などの外力に対して、その住宅が倒壊や損傷に耐えうるレベルを表します。（株）大興はこの項目において「耐震等級3」相当の性能※を実現しています。基準にしているのは、「耐震等級3」相当の設計。お客様のプランをCADシステムで検証し、住まいの安全性を確かなものにします。

参考資料



住宅性能表示 構造の安定 総合判定表

2014年04月17日 18:3

建物コード: 001

建物名: 秋田五反田

等級	耐力壁	耐力筋交	耐力柱	耐力梁	耐力床	耐力基礎	等級判定
耐震等級3	○	○	○	○	○	○	耐震等級3
耐震等級2	○	○	○	○	○	○	耐震等級2

総合判定: 耐震等級 等級3

チェック

ここをアップ

※記載内容は、住宅性能表示制度における最高等級の評価基準を満たすよう設計評価したものです。同制度に基づき設計段階で評価したもので、完成後や経年変化を考慮したものではありません。地域・プランにより最高等級の評価基準を満たさない場合があります。住宅性能表示制度による住宅性能評価書の交付を受ける場合は、登録住宅性能評価機関の評価を受ける必要があります。（申請・評価には別途費用がかかります。）

